

滋賀県立看護専門学校 平成23年度組織目標

教育の充実を図り、地域の医療に貢献できる看護師を養成します。

< 設定理由 >

高齢者の増加、安全・安心な医療への要望の高まりの中にあって、医療の現場では看護師の不足が課題となっており、看護師養成施設には質の高い看護師を社会に送り出すことが求められています。

< 目標項目 >

1. 学生の確保

高校卒業生数が減少し、また大学が増加する中、学生確保が厳しい現状となっている。そこで、社会の要請に応えられる看護師を一人でも多く養成するために、入学志願者の募集に力を入れ、学生確保に努めます。

< 実施方策 >

高校訪問や進学説明会への参加により、高校生に看護の魅力を啓発し、本校への入学を働きかけます。

ホームページを活用し、本校の特色を高校生や社会人の方にPRします。

オープンキャンパスを実施し、参加者に本校の施設・設備、授業や演習内容を直接見る機会を設け、本校の良さを知ってもらいます。

目標値：定員充足率100%

2. 新カリキュラムに基づく教育の円滑な実施

3年目で完成の年となる新カリキュラムによる教育を円滑に実施し、看護を取り巻く環境の変化に伴って「より重要性が増していると考えられる教育内容」の充実と学生の「看護実践能力」の強化を図ります。

< 実施方策 >

新カリキュラムおよび看護過程の方法論の変更（看護診断）に伴い講師、実習施設との調整を図ります。

新規設置科目や内容の変更を伴う科目について、効果的に教授できるよう検討し、講師との調整を図ります。

新設された統合分野における講義および実習について、効果的な教育に向けて講師、実習施設との調整を図ります。

臨床（臨地）での看護実践能力の向上を図るために強化した演習が、実習において効果を発揮しているか評価を行います。

3. 看護師国家試験の合格率の向上

安全な看護が提供でき、科学的思考力と主体的実践力を備えた看護師を社会に送り出すため、学生への教育・指導・支援を徹底し、卒業生全員の国家試験合格をめざします。

< 実施方策 >

入学時より国家試験への志気を強化します。

各学年次に計画的に国家試験に向けた学習を組み入れます。

国家試験に向けた補習講義を実施します。

外部模擬試験を活用して、実力診断、弱点把握を行い、実力向上につなげます。

出題基準および必修問題への対策を強化します。

状況設定問題に対応できる能力を身につけるため、臨地実習と結びつけた学習を実施します。

目標値：合格率100%

4. 修学資金等貸与生の県内就職率の向上

滋賀県の医療の充実を図るため、県内の医療機関に就業する意思のある学生に対し修学資金および授業料資金が貸与されています。この制度の趣旨を生かすため、日常の教育や、就職相談を通じ、貸与生の県内就職率の向上を図ります。

< 実施方策 >

貸与生に県内の医療機関への就職を勧めます。

目標値：県内就職率100%